
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成 21 年 7 月 3 日

八代海赤潮情報No.3

[1] 7月2日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において着色域は確認されませんでした。

獅子島東側から水俣にかけての広範囲で、表層に夜光虫（ノクティルカ シンチランス）の発生が見られました（約3 cells/ml）。

全体的にプランクトン数は少なかったのですが、水深10m層にキートセラス属等の珪藻類が見られる調査点がありました。

コクロディニウム ポリクリコイデス等の有害種は、今回は確認されませんでした。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で22.8～24.3℃で同年同時期より2.5℃低め、塩分は32.1～33.7で同年同時期より高め、透明度は同年同時並となっています。

水 温（表層）：平均 23.6℃ (26.1℃)
塩 分（表層）：平均 33.2 (30.5)
透明度 : 平均 7.7m (8.2m)

()はH元～H20年7月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

全体的にプランクトン総数は少なかったのですが、広範囲に夜光虫の発生が見られました。

今回、コクロディニウムやシャトネラ等の有害種は確認されませんでした。海況をみると、水温は平年よりやや低めで、塩分が高めの状況です。今後は水温上昇や降雨による塩分の低下が予想されますので、有害種の増殖に注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。

次回調査は7月14日の予定。

